

みずほCustomer Desk Report 2018/03/13号(As of 2018/03/12)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	106.97
TKY 9:00AM	106.90	1.2309	131.57	1.3857	0.7864
SYD-NY High	106.97	1.2345	131.68	1.3917	0.7880
SYD-NY Low	106.30	1.2291	130.97	1.3842	0.7847
NY 5:00 PM	106.42	1.2336	131.24	1.3905	0.7872
NY DOW	25,178.61	▲ 157.13	日本2年債	-0.1500	1.00bp
NASDAQ	7,588.33	27.51	日本10年債	0.0400	▲ 1.00bp
S&P	2,783.02	▲ 3.55	米国2年債	2.2600	▲ 0.00bp
日経平均	21,824.03	354.83	米国5年債	2.6342	▲ 1.69bp
TOPIX	1,741.30	25.82	米国10年債	2.8654	▲ 2.93bp
シゴ日経先物	21,625	▲ 135.00	独10年債	0.6315	▲ 1.10bp
ロンドンFT	7,214.76	▲ 9.75	英10年債	1.4955	0.35bp
DAX	12,418.39	71.71	豪10年債	2.8130	1.55bp
ハンセン指数	31,594.33	598.12	USDJPY 1M Vol	7.95	0.35%
上海総合	3,326.70	19.53	USDJPY 3M Vol	8.05	0.08%
NY金	1,320.80	▲ 3.20	USDJPY 6M Vol	8.40	0.13%
WTI	61.36	▲ 0.68	USDJPY 1M 25RR	-1.03	Yen Call Over
CRB指数	194.53	▲ 0.62	EURJPY 3M Vol	8.20	0.07%
ドルインデックス	89.90	▲ 0.20	EURJPY 6M Vol	8.63	0.05%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月13日	3:00	米 財政収支	2月 -\$215.2b	-\$216.0b

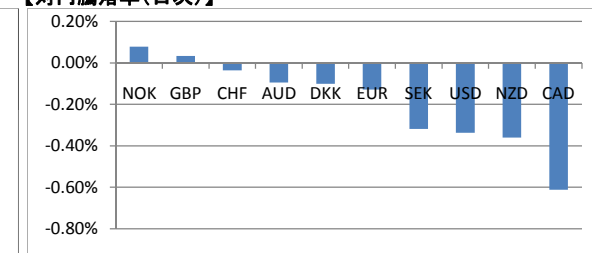
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月13日	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	2月 0.2%/2.2%	0.5%/2.1%
	21:30	米 CPIコア(前月比/前年比)	2月 0.2%/1.8%	0.3%/1.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	106.00-107.00	1.2250-1.2370	130.50-131.80

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は与党幹部が森友問題に関して財務省による文書の書き換えを認めたことから安倍政権の1強体勢が崩れるとの危機感からドル円は下落、海外時間に入ると米財政赤字が6年ぶりの水準に拡大したことやロシア疑惑捜査に関する報道から上値重く推移した。

本日のドル円は106円台前半から後半での方向感に欠ける展開を予想する。森友問題に関しては麻生財務大臣が辞任を否定したことから安堵感が広がったものの予断は許さない状況であるが、106円台前半では下げ渋っており、再度このニュースに反応する可能性は低いだろう。本日はNY時間に米2月CPIの発表が予定されており、日中に関しては様子見ムードとなろう。

東京	東京時間のドル円は106.90レベルでオープン。日経平均株価が大幅高で寄り付くも、森友文書問題への懸念が煽るなか、ドル円は107円手前で横ばい推移。その後、与党幹部が財務省による文書の書き換えを認めると、ドル円は106円台前半まで下落。更に14時過ぎから麻生財務相が会見を行うとの報道が出ると、同氏辞任への警戒感からリスクオフ的な買いが進み、106.35まで下落。しかし、実際の会見で「(自身の)進退については考えていない」との発言があると、安心感からドル円は反発し、結局106.72レベルまで値を戻して海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、106.72レベルでオープン。東京時間に引き続き、森友問題の再燃を受け、アベノミクスに対する先行き不透明感から円が買われる展開となり一時106.46まで売られ、106.62レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.2318レベルでオープン。1.2341まで堅調に推移するも、米10年債利回りが2.9%に近辺で推移する中、独10年債利回りは低下したことからユーロ売りが優勢となり1.2293レベルでNYに渡った。ポンドドルは1.3856レベルでオープン。一時1.3881まで買われる局面が見れたが1.3853レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	森友問題が再燃したことから海外市場で円買いが優勢となり一時106.35まで下落したドル円は、その後はドルが買い戻される展開に下げ渋り106.62レベルでNYオープン。海外勢は麻生財務相が辞任に追い込まれ安倍政権が危機に陥る可能性があるとの見方をするものの、直ちにそうなるわけではなくまだ不透明な状態が継続するとの解釈からドル円は106.50を挟んだレンジでの推移が続いた。午後に入り米10年債の入札結果が発表されるがドル円の反応は限定的となる一方、特段のニュースが見当たらない中徐々にドル売りが優勢となり、ドル円は安値106.30まで下落。終盤に掛けては明日に米2月CPI結果発表を控え開散な取引が継続し106.42レベルでクローズした。一方、ケレECB理事の「QEが終了しても低金利が続く」とのハズな発言が伝わるもののユーロドルの反応は限定的となるが、独金利が低下する動きにユーロドルは1.2291まで下落し、1.2293レベルでNYオープン。朝方は狭いレンジでの推移が続くが、海外時間に入られたドルが売り戻される展開にユーロドルは1.2326まで上昇。午後の特段のニュースは見当たらないもののドル売りが継続したことからユーロドルは一時1.2345まで回復し1.2336レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:田家